

問4 問2でご回答いただいた「大地震が起こったときに心配なこと」を踏まえ、地区の防災性を向上するために今後取り組んだ方がよいと思うものを教えてください。
該当するものすべてに○を付けてください。

1. 防災まちづくりを広め、防災意識をより向上させるような啓発
2. 防災倉庫の設置や防災訓練の充実
3. 消火栓や防火水槽などの消防水利の充実
4. 災害時に一時的に避難できる公園などのオープンスペースの確保
5. 個々の建物の不燃化（燃えにくいまちにする）の促進
6. 建物が密集していることの解消（建て詰まりの防止）
7. 建替え困難な敷地に対して、隣接する複数の敷地と協力した建替え等の検討
8. 危険なブロック塀等の撤去や耐震化などに関する助成制度の周知
9. 道路閉塞により、避難が困難となる恐れのある行き止まり道路の解消
10. 緊急車両の通行や避難を妨げる恐れのある幅員4m未満の道路の解消
11. 災害時に円滑な消防活動等ができるような幅員6m以上の道路（防災道路）の整備
12. その他（具体的に）

問5 あなたご自身についてお尋ねします。
該当するものすべてに○を付けてください。

年代	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上
世帯構成	1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯世帯（親と子）	
	4. 三世帯世帯（親と子と孫）	5. その他（		）
権利状況	1. 土地・建物を所有	2. 土地を所有		
	3. 建物を所有	4. 借地・借家など		

問6 その他、防災まちづくりについてのお考えやご意見等をご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきまして真にありがとうございました。

連絡先 | 練馬区都市整備部防災まちづくり課（本庁舎15階） 担当：大塚、松西、降旗
 住所 | 〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 電話 | 03-5984-4749（直通）
 Eメール | BOUMACHI02@city.nerima.tokyo.jp FAX | 03-5984-1225
ボウマチゼロニ

 **桜台東部地区**
防災まちづくりアンケート（回答用紙）

＜アンケートの回答・提出方法＞

- ・このアンケートは、5つの設問と自由記述欄で構成されています。
- ・ご回答は、この回答用紙に直接ご記入ください。
- ・地図に記入する際は、色のついたペンなどを使用し、なるべくはっきりと見えるようにご記入ください。
- ・すべての設問にご回答いただき、**令和6年2月12日(月)**までに、以下のいずれかの方法で、ご提出をお願いいたします。

郵送で提出

- ①アンケート（回答用紙）に記入
- ②アンケート（回答用紙）を折って
同封の返信用封筒に入れ、封をする
- ③ポストに投函
(切手は不要)



メールで提出

- ①アンケート（回答用紙）に記入
- ②アンケート（回答用紙）の全てのページを
写真撮影またはスキャンする
- ③写真またはPDFファイル(*)を添付して、
件名『桜台東部地区アンケート』で
下記メールアドレスに送信
BOUMACHI02@city.nerima.tokyo.jp
※ファイルサイズは10MBまで送付可能




二次元コード

＜アンケートご回答内容の取扱いについて＞

- ・いただいたご回答は、個人情報が入らないよう、統計的に処理、集計を行います。
- ・いただいたご回答は、調査の目的以外で使用することはありません。

問1 はじめに、お住いのエリアを教えてください。

※ 桜台東部地区のエリアは2・3ページの地図をご覧ください。
地区外にお住いの場合は、「2」に○を付けていただき、問3は省略していただいても構いません。

1. 桜台東部地区内 (桜台_____丁目_____番地)	2. 桜台東部地区外
----------------------------------	------------

問2 当地区について、「大地震が起こったときに心配なこと」はありますか。
該当するものすべてに○を付けてください。

1. 道が塞がれること	2. 近くに逃げられる学校や空き地等がないこと
3. 塀が倒れてくること	4. 火災が発生すること
5. 建物が倒れてくること	6. 近所の助け合いに不安があること
7. 消防車や救急車が入ってこられないこと	8. 自宅の震災時の備えが十分でないこと
9. その他（	）

問3 つぎの「プロローグ」をお読みいただき、以下(1)～(5)の順番に、地図中にご記入ください。

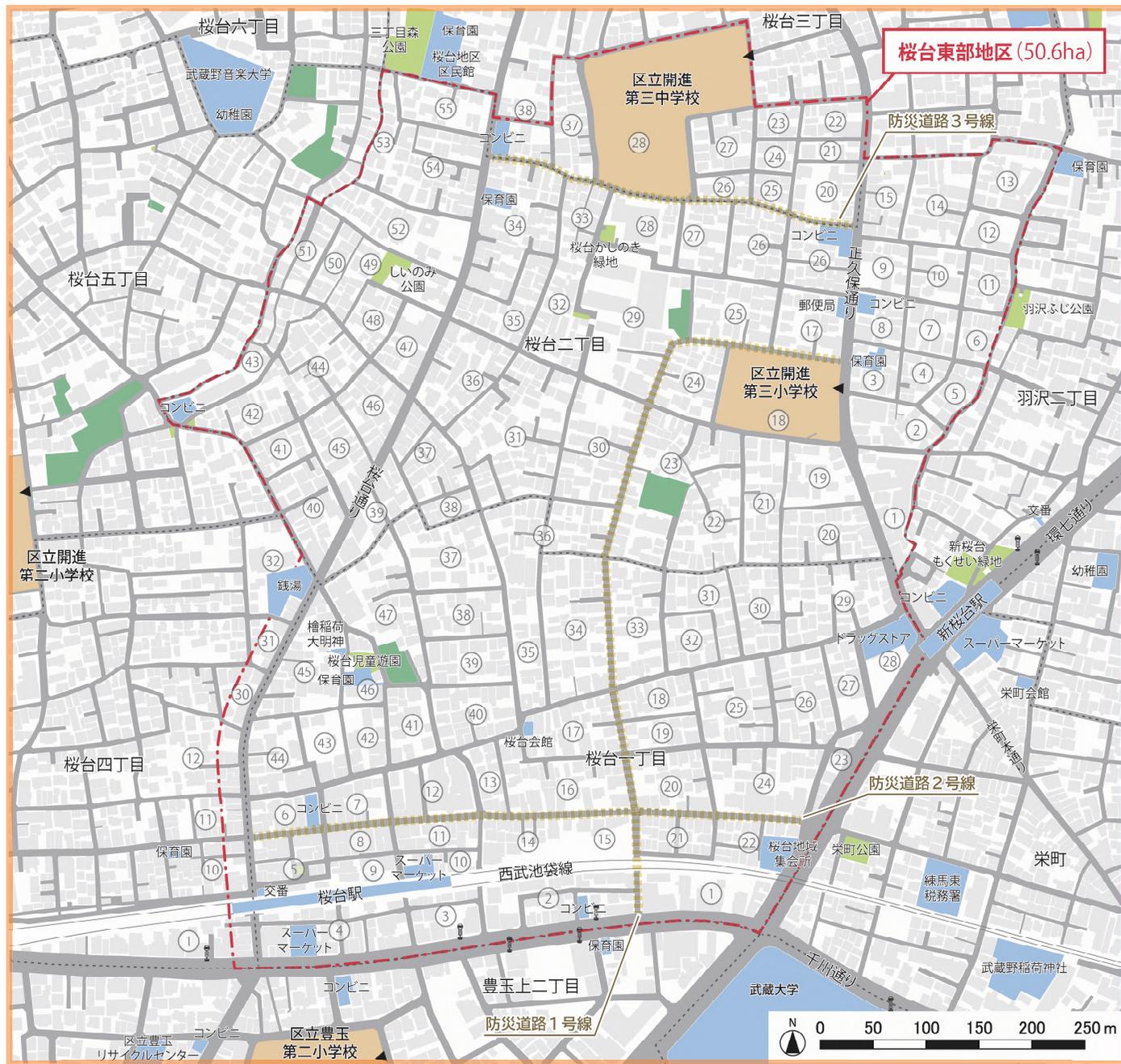
プロローグ

現在は、20XX年〇月〇日の夜10時です。突然、震度6弱の地震が起こり、我が家は、家全体がギンギンと音を立てて揺れました。ラジオをつけると引き続き地震や火災に十分警戒するよう呼びかけています。しばらくするとサイレンの音が聞こえてきました。今後の地震や二次災害の恐れから、自宅での安全確保に不安を感じたため、あなたは避難拠点到避難することになりました。

下記の記入例を参考に色のついたペンなどで記入してください

- あなたの自宅がある番地に○を付けてください。
- 地震発生後に避難する場合、あなたが向かうであろう避難拠点(小中学校)に○を付けてください。
※居住地等による避難拠点の指定はないため、複数の避難拠点を選択しても構いません。
- あなたの自宅付近から避難拠点までの想定ルートを、線で書き込んでください。
※複数のルートを記入しても構いません。
- その他、買い物や通勤・通学の際に通る道など、あなたが普段よく使用しているルートを点線で書き込んでください。
- 地区内で防災上の心配ごとを、地図に直接ご記入ください。

記入例



その他、防災上の心配ごとの例…
 ・交差点での見通しが悪い
 ・地震時に火災が心配
 ・空き家が多い
 など

凡例	
	主要施設
	公園
	農地
	町丁目境
	番地
	バス停
	防災道路整備予定路線
	避難拠点
	災害時に開いている校門

防災道路とは…
 消防活動等を円滑に行うために必要な幅員6mの防災道路の整備を推進しており、上記地図内の防災道路1～3号線の拡幅整備を予定しています。

避難拠点とは…
 区内で震度5弱以上の地震が発生した場合の避難所および防災活動の拠点として区内の小中学校(98校)を避難拠点到指定しています。